



学んだことを 職場で活かす

6月13日～14日
神奈川県三浦半島
マホロバマイルズ

国労東日本本部 組織経験交流集会開く

初日は、海渡弁護士による労働法制の講演と組織部から問題提起・拡大報告などがありました。職場・分会からは、現状などが分代会で報告されました。

二日目は、分代会で出された問題点など議論し、今後の課題を明らかにし、意思統一を図りました。グループ別の発表・各地方からの報告などや、最後は組織部の総括で中味の濃い二日間でした。

中味の濃い二日間

六月十三日～十四日、国労東日本本部・ブロック別組織対策交流集会在神奈川県三浦半島・マホロバマイルズで開催されました。

秋田・新潟・神奈川・東京地本など全体で六〇名が参加しました。新潟からは、加藤地本組織部長をはじめ、九名が参加しました。



NO. 698
発行
10・6月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

新聞のつくりかた

素顔や人なりの紹介は？

1問1答や一般的な談話形式だけでなく、相手の素顔や人なりが十分に伝わらない場合があります。そのときには、インタビューした書き手自身が見たこと、知っていること、あるいは感想などを書き込んで補強する必要が出てきます。

カギカッコ「」でくくって相手の言葉を引用しながら、書き手の地の文で補強してまとめていきます。

沢山の組織拡大成功例を聞き、刺激されると同時に新潟地本も何日かは・・・参加者の意識向上が感じられ、有意義な交流会でした。

学んだ事を職場・分会等でも出して行けるよう、私自身も先頭に立って頑張ります。最後に参加された9人の方に感謝します。

加藤組織部長



2010 夏季手当回答等の状況
2010年6月18日現在

会社別	本年度実績	前年度実績	支払日	対前年度比	回答日	妥結日
北海道	ヵ月	2.19 ヵ月				
東日本	2.70 ヵ月	2.85 ヵ月	6/29	0.15 ヵ月減	3/29	3/30
東海	2.80 ヵ月	2.95 ヵ月	6/30	0.15 ヵ月減	3/18	3/19
西日本	2.50 ヵ月	2.65 ヵ月	6/30	0.15 ヵ月減	3/18	3/19
四国	2.10 ヵ月	2.15 ヵ月	7/12	0.05 ヵ月減	6/18	6/18
九州	2.43 ヵ月	2.61 ヵ月	6/30	0.18 ヵ月減	3/19	3/23
貨物	1.58 ヵ月	1.65 ヵ月	7/7	0.07 ヵ月減	6/11	6/18
テレコム	3.15 ヵ月	2.70 ヵ月	6/30	0.45 ヵ月増	5/18	5/18
システム	2.78 ヵ月	2.90 ヵ月	6/30	0.18 ヵ月減	6/10	6/17
鉄道総研	2.81 ヵ月	2.96 ヵ月	6/30	0.15 ヵ月減	6/16	6/18

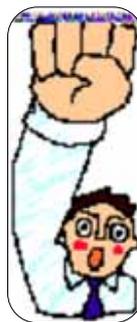
7・58ヵ月分の回答
貨物会社
夏季手当当

六月十一日、貨物会社は、対前年度比0・07ヵ月分減の「1・58ヵ月分」の回答をしました。

国労本部は、十一年連続のペアゼロと定期昇給の六ヵ月繰り下げと、期末手当についても削減するという経営陣の姿勢に対し嚴重に抗議し、再回答を強く求めました。

本部は、抗議行動を展開していきます。職場からも、貨物会社の姿勢に対して、抗議していきましよう。

編集後記



今号で698号になります。いろいろな方々の御協力で、ここまで発行することができました。

残りは、あと一号で年間三〇〇号達成になります。文芸関係の特集ですが、現在、関係者など問い合わせを行っている段階です。

ぜひ実現したいと考えています。組合員・退職者の方々の文芸など投稿をお待ちしています。

よろしくお願います。

(地本・教宣部)



KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
 発 行 所
 新潟市中央区花園1丁目5-3
 ネットワークビル花園内
 〒950-0086 ☎ 025-244-1284
 2010年6月15日 No. 66号
 発行責任者 大湊 茂
 発 行 者 教 宣 部

越後駒ヶ岳報告 2002.7m

眺めてよし、登ってよしの越後三山の代表格

とき 6月9日(水) 早朝:30分
 集合所 電田駅前 (日影)

思いがけない暑くみに
 出会う。山菜はまだあ
 る。そして、カタクリ
 やイワカガミ、ショウ
 ジョウバカマなど咲い
 っていました。



天気 晴れ曇 気温 25℃
 参加者 大湊・坂井・風間・野村
 登り=6:28分 下り=3:20分
 駒ノ湯コースタイム

- 駒ノ湯登山口 7:15 ↓
- 2:11分
- 栗の木ノ頭 (916m) 9:26
- ↓ 44分
- 小倉山 (1378m) 10:10
- ↓ 49分 (眺望よい)
- 百草ノ池 11:20
- ↓ 42分
- 前 駒 (1763m) 12:02・13:06
- ↓ 16分
- 駒ノ小屋 (稜泊ノミ) 13:22
- ↓ 21分
- 駒ヶ岳 (2002.7m) 13:43
- ↓
- 駒ノ湯登山口 17:10

ある。最初から急登がつづき、ブナやミズナラ林ではじめは心地良いが、林の中は風通しが悪く暑く一枚脱いだ、越後駒ヶ岳は八海山、中ノ岳とあわせて、通称「越後三山」または「魚沼三山」とよばれ、多くの登山者に親しまれている。なかでも越後駒ヶ岳は、その山容がすばらしく、三山のなかで一番人気が高い山である。

栗の木沢ノ頭付近から百草池付近まで、山菜(コシアブラ)をとりながら登り4人分十分採れました。登るのを忘れて本格的に採ったりして(注)。風間さんが少しずつ遅れたので、前駒で昼食をとり、後から来た風間さんは、途中百草池で昼食を済ませたとのことでした。ここで風間さんと相談し、前駒で待ってもらうことに3人で山頂まで行くことにした。百草池から急登となり残

雪も多くアイゼン・ピッケルが必要だと感じた。駒ノ小屋には、今日は、お1人様宿泊のようだ。(東京から)管理人もいなくさびしく一人でビールを飲んでいました。山頂に着いたときは、ガスっていて大パノラマ残念で、毎年巻機山から越後三山を眺めていたのに、また機会があるときに残しておきます。

来た道に下山し、駒ノ湯で汗をかいた身体を流そうとしたら、日帰りは5時までといわれ、大湯日帰りもお休みだったので、広場で着替え、サーブスエリアで汗をふき無事に帰宅の途に着きました。



大朝日岳案内

とき 7月22日(木)~24日(土)
 宿泊 22日(孝庵) 23日(山小屋)
 集合場所 新津駅前 13:00

※民宿 山形県大井沢 泉近くの民宿

7月22日は前泊 孝庵 (0237-76-2307)

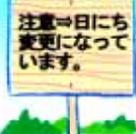
7月23日は大朝日小屋 (食料を担ぐ)

現在の参加者=大湊・坂井・野村・○ [日程]

登り=7:35分
 下り=4:20分

日暮沢から大朝日周遊コース
 予想時間

- | | |
|---------------|----------|
| 7月23日(金) | 7月24日(土) |
| 日暮沢小屋 | 大朝日小屋 |
| ↓ 3:00分 | ↓ 1:20分 |
| 清太岩山(1464.6) | 小朝日岳 |
| ↓ 40分 | ↓ 1:00分 |
| ユーブン山 | ハナヌキ峰分岐 |
| ↓ 50分 | ↓ 1:30分 |
| 竜門山(1688m) | 林道終点 |
| ↓ 1:10分 | ↓ 30分 |
| 西朝日岳(1813m) | 日暮沢小屋 |
| ↓ 1:30分 | |
| 大朝日小屋 | |
| ↓ 15分 | |
| 大朝日岳(1870.3m) | |
| ↓ 10分 | |
| 大朝日小屋 | |



8月の登山計画は
 鹿島槍一五竜岳
 8月5日~8月8日
 決定、年休お願い

